

製品安全データシート(SDS)

会社:ニッショウ機器株式会社
住所:神奈川県横浜市中区不老町 3-12-6
連絡先:045-662-4721
担当部門:業務部
担当者:瀬水 昇
作成日:2023年1月18日

製品番号:004

製品名(化学名、商品名)

鼠さん避けテクジェル ストロング

用途:ネズミ用の忌避剤

使用制限:使用用途以外に使用してはならない。

推奨用途:ネズミの忌避剤としてのみ有用

1. 危険・有害性の要約

特有の危険有害性:この商品は、危険有害性に関する法令に該当しませんが、使用に際して製品安全データシートを確認し取扱ってください。

GHS 分類

GHS に分類に該当するデータは得られていない。

健康に対する有毒性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(蒸気)	区分外
皮膚腐食性及び刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性	区分外
生殖細胞変原性	区分外
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分外

環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。

河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。

危険有害性情報 非引火性の粘稠性の液体
刺激臭(ワサビ臭、ハーブ臭)
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
遺伝性疾患のおそれ

注意書き

- 【安全対策】** 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
容器を密閉しておくこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 【応急処置】** 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していた容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露又は暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受けること。
- 【保管】** 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
- 【廃棄】** 内容物/容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に委託すること。

2. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質・混合物

成分及び含有量

成分名称	含有量 wt.%	CAS#	化審法
			官報公示 番号
アクリル酸エステル系樹脂	18~22	—	あり
水	70~75	7732-18-5	非該当
アリルイソチオシアネート	0.5~1.0	57-06-7	あり
天然精油	1.0~1.5	2216-51-5	(3)-2333

3. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を拭き取り、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹸水で洗う。
- 眼に入った場合： 清浄な水で15分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

予想される急性症状及び遅発性症状：現在のところ有用な情報なし。

最も重要な徴候症状

症状に関する簡潔な情報：

応急措置をする者の保護： 換気に注意する。

医師に対する特別な注意事項：

4. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、炭酸ガス、水噴霧、砂、一般の泡消火器有効である。初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤： 棒状注水
- 特有の危険有害性： 火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。
消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸

素欠乏および有害ガスから身をまもること。

5. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	関係者以外は近づけない。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 消火用器材を準備する 作業の際には消火用保護具を着用する。 風下の人を退避させ、漏出場所から人を遠ざける。ロープ等を張り関係者以外立ち入り禁止とする。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
環境に対する注意事項：	下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器等に回収する。
二次災害の防止策：	漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

6・取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：	ばく露防止及び保護措置に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 禁煙。皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
安全取扱注意事項：	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管 安全な保管条件：	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 容器を密閉し、空気との接触を避ける。保管場所に施錠すること。 保管場所の床は、浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜

をつけ、かつ、適当なますを設けること。
貯蔵場所は、ボイラー等、熱源のあるところを避ける。
安全な容器包装材料： 容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。

7. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 屋内作業場での使用は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。取扱い場所の近くに洗眼器、シャワーを設け、その位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具： 情報なし

手の保護具： ゴム手袋(不浸透性保護手袋)を着用する。

眼の保護具： 適切な保護めがねを着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用保護具、作業衣、安全靴。

一切の接触を防止するには適切な手袋、エプロン、ブーツ、又は全体スーツ等の不浸透性の保護具を適宜着用すること。

適切な衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

8. 物理的及び化学的性質

外観物理的状态： 白色の粘稠性液体
臭い 芳香のある刺激臭
密度 1.05g/cm³
引火点 引火せず
溶解度 水に可溶、有機溶剤に不溶

9. 安定性及び反応性

化学的安定性： 常温、常圧で安定

反応性： 水との反応性はない

危険有害反応可能性： 燃焼等により CO,NOX などの有害ガスが発生するおそれがある。5℃以下、40℃以上になるおそれのある場所腕の保管は避ける

避けるべき条件： 高温

10. 有害性情報

以下は、弊社が収集することができたデータに基づいた分類です。

急性毒性

情報なし

11..環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データなし。
水生環境有害性(長期間)	データなし
生体蓄積性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

12. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

13. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報：	関連法規の規定に従う
海上規制情報：	該当しない
航空規制情報：	航空法の規定に従う
輸送の特定安全対策：	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を行い、法令の定めるところに従う。

14. 適用法令

消防法： 非危険物

毒物及び劇物取締法： 非該当

特定化学物質排出管理促進法：非該当

労働安全衛生法：

名称を通知すべき危険物及び有害物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)

15. その他の情報

本安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考として取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任にお

いて、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。

—以下余白—